

現在位置：[トップページ](#) [市の施設](#) [環境・衛生](#) [動物愛護センター（ANIMAMALL（アニマモール）かわさき）](#)

[市制100周年記念事業100年続く人と動物のきずな](#)

令和5年度「100年続く人と動物のきずな」【市制100周年記念プレ事業】

## 令和5年度「100年続く人と動物のきずな」【市制100周年記念プレ事業】

Twitterへのリンクは別ウィンドウで開きます

ツイート

2023年6月5日

コンテンツ番号150499

### 令和5年度【市制100周年記念プレ事業】 Colors,Future ! Actions

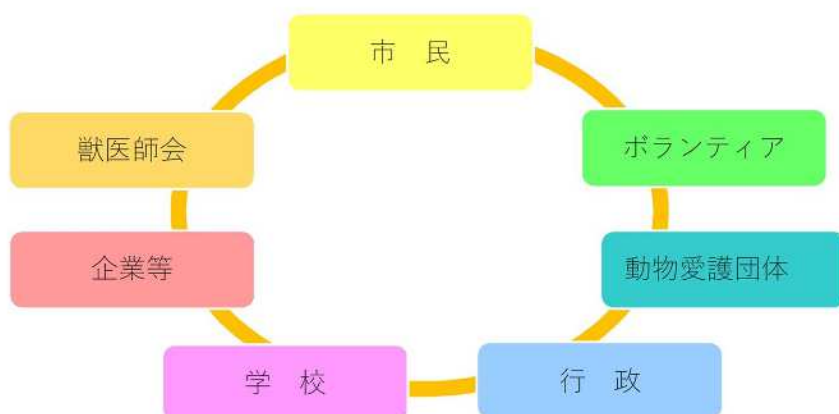
#### 「100年続く人と動物のきずな」

川崎市は令和6（2024）年7月1日に市制100周年を迎えます。

この歴史的な節目を、次の100年に向けて「あたらしい川崎」を生み出していくためのスタートラインとして、多彩な記念事業「Colors,Future ! Actions」を展開していきます。

Colors,Future! Actionsは、一人ひとりの市民、関係する企業、団体、川崎市と共に未来のかわさきを考え、創っていくための、活動、プラットフォームです。

みんなが主役となって、力をかけ合わせながら多彩なActionを生み出していきます。



川崎市は、獣医師会や動物愛護団体、ボランティア、企業、学校、市民等多様な主体と連携協働し、動物愛護施策を推進してきました。

今後も、さまざまな方々と連携協働し、川崎の未来づくりにつながる取り組みを実践してまいります。

この度、市制100周年記念事業として「100年続く人と動物のきずなプロジェクト」を開始いたします。

|                                                                                                                             |                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>I 100th event</b> (ともに楽しむ)</p> <p>公益社団法人川崎市獣医師会、関係機関及びボランティアとともに動物愛護に係る啓発を目的としたイベントを開催する。</p> <p>ACTION 09</p>        | <p><b>II 100th class</b> (ともに学ぶ)</p> <p>保育園や小学校等で「いのちの授業」を開催し、園児・児童に向けたいのちの大切さや他者への思いやりを伝える。</p> <p>ACTION 14</p> |
| <p><b>III 100th story</b> (ともに伝える)</p> <p>動物愛護施策のこれまでのあゆみを振り返るとともに、人と動物のきずなを伝え、100年続く人と動物の共生社会の実現を目指す。</p> <p>ACTION 06</p> | <p><b>IV 100th steps</b> (ともに歩む)</p> <p>散歩を通じた人と動物のきずなを動画や写真で表現し、100年続く未来づくりを一緒に実現する。</p> <p>ACTION 10</p>        |

**プロジェクト第1弾として、「12人でつむぐ人と動物の物語」を川崎市のゆかりのある方々に、人と動物のきずなに係るエピソードを毎月 リレーエッセイの形でお届けします。**

## **12人でつむぐ人と動物の物語 ～ひととどうぶつ つぎの未来へ～**

12人の物語を毎月リレーでつなぎ、令和6年度の100th STORYにバドンを渡します。令和5年4月から毎月、川崎市動物愛護センターホームページで公開中。

### **令和5年4月 公益社団法人 川崎市獣医師会 会長 田村 通夫**

公益社団法人 川崎市獣医師会は田村会長を始め多くの会員の皆様に、川崎市の動物愛護行政に長年 ご協力をいただいております。

病気やケガで保護された犬や猫の治療、ペットの飼い方や医療相談、狂犬病の予防注射、猫の不妊去勢手術、災害時における協力などさまざまな場面で連携いただいている力強いパートナーです。

動物愛護センターに保護された犬や猫の手術等についても協力いただき、職員の臨床技術支援も実施いただいております。

田村会長は、長年 動物愛護係る幅広い活動をされており、さまざまな動物の命を守っていただいています。

リレーエッセイについて、病院にお願いに伺った時には、野良猫の不妊去勢手術を実施されており、多くの動物たちがさまざまな治療を受け、安心した表情でスタッフの方々にケアされている姿がとても印象的でした。

動物や飼い主さんのことを大切にする姿勢をふれずに実践されている獣医師・田村会長です。

# 4

## 12人でつむぐ 人と動物の物語

公益社団法人 川崎市獣医師会

会長 田村 通夫

### 動物病院開業時の思い出

川崎市に動物病院を構え、今年で41年が経とうとしています。

長いようであるという間に年月が流れました。開業初日のことは、今でも鮮明に覚えています。

真新しい白衣に身を包み、不安と期待がいっぱいで患者さんが来るのを待っていました。

患者さん第一号は、マルチーズの男の子の尿道結石でした。当時のレントゲンは解像度が悪く石がハッキリ映らない、カテーテルを通そうにも途中から入らない、

手術が必要だろうが自分の経験は浅い。必死で外科の本を読み漁り、手術をして結石が取れた時は本当に嬉しかった！！飼い主様にも感謝され、その後もその子が寿命を全うするまで診させて頂きました。

第二号の患者さんは、修行時代には経験したことがない超高齢猫の初産で、ハイリスクの帝王切開でした。その夜、疲れた母猫の代わりに仔猫にミルクを飲ませながら、命を預かる重さを痛感したことを覚えています。

目覚ましい獣医療の進歩と長い臨床経験を積んだにもかかわらず、未だに初めて診る症例はやって来ます。これからも初心を忘れずに、臨床獣医師として成長して行けたらと思っています。



令和5年4月から毎月、川崎市動物愛護センターホームページで公開中。令和5年度1年間を12人の方に、これまでの動物とのエピソードをエッセイで紹介してもらいます。



### 12人でつむぐ人と動物の物語

 [12人でつむぐ人と動物の物語\(JPG形式, 199.45KB\)](#)

### 4月 公益社団法人 獣医師会 会長 田村 通夫

 [4月 公益社団法人 獣医師会 会長 田村 通夫\(JPG形式, 188.18KB\)](#)

### 令和5年5月 川崎フロンターレMF（ミッドフィールダー）背番号30 瀬川 祐輔

2023シーズンより湘南ベルマーレから完全移籍で加入した瀬川祐輔選手。

フロンターレでの登録はMF（ミッドフィールダー）だが、もともとは得点力が武器のFW（フォワード）。

さまざまなクラブでプロのキャリアを積み重ねていく過程で、年々プレーの幅を広げて万能アタッカーへと成長し、複数のポジションでプレー可能な彼がいることでチームの攻守のオプションの幅は大きく広がることが期待される注目の選手です。

ペットのワンちゃんとの素敵な生活のエッセイをいただきました。

# 5

## 12人でつむぐ 人と動物の物語

川崎フロンターレ  
MF（ミッドフィールダー） 背番号30

瀬川 祐輔

### 今では犬なしの生活は 考えられないです

もうすぐ5歳になるポメラニアンとブードルのミックス犬を飼っています。犬を飼いはじめる前から彼女（現在の妻）と一緒にペットショップを巡っていて出会いました。今では完全に大事な家族の一員で、散歩に行くだけではなくて、連れて行ける場所であれば僕と妻と犬と一緒に出かけしています。長い時間、留守番させるのはかわいそうですから。僕がサッカーの練習から帰ったら必ず玄関まで迎えて来てくれますし、僕が落ち込んでいるようなときは様子を見ながらそばに来て寄り添ってくれるんです。



人間の言葉は通じないかもしれませんが、きっとこちらの声のトーンやニュアンスで感情を理解していると思っています。しつけに関しても、しっかり愛情を注げば応えてくれます。家にいるときはきちんとトイレで用を足してくれますし、たまに吐くときがあるんですが自分からトイレに行っています。もちろん叱るときもありますし、留守番をさせるときもあります。でも、いつも愛くるしい顔で僕のところに飛び込んできるといいですね。これまで実家でも犬を飼ったことがなくてすべてが初めての経験だったんですが、動物と接していると自然と優しい気持ちになれます。その影響なのかはわかりませんが、動物だけではなくて人に対しても寛容になったような気がします。今では犬なしでの生活は考えられないですね。



令和5年4月から毎月、川崎市動物愛護センターホームページで公開中。

令和5年5月 川崎フロンターレMF（ミッドフィールダー） 背番号30 瀬川 祐輔



令和5年5月 川崎フロンターレMF（ミッドフィールダー） 背番号30 瀬川 祐輔(JPG形式, 214.58KB).

### 令和5年6月 田園調布学園大学人間福祉学部 教授 和 秀俊

和先生は、田園調布学園大学人間福祉学部社会福祉学科において、地域福祉や福祉デザインを専門に研究される中、川崎市において、川崎市地域における障害者スポーツ普及推進事業実行委員会委員長、川崎市多摩区地域福祉計画支え合いのまちづくり推進会議座長など歴任されています。

動物愛護関係では、新しいセンター開設に際して、「多様な主体と連携・協働しながら、具体的な取組を实践する拠点」として地域と調和した役割を発揮するための外部有識者会議「川崎市動物愛護センター運営懇談会」の委員として貴重なご意見をいただいております。

先生がいらっしゃる空間には、優しく、温かく、前向きな空気が漂っている印象があり、外部有識者会議の委員やリレーエッセイをお願いに伺った折にも、穏やかな表情で快諾をいただきました。

動物を通じた人と人とのつながりをどのように広げていくか・・・今後もご意見をいただきながらさまざまな取り組みを实践していく予定です。

今回は、動物とご家族との温かいきずなを描いた素敵なエッセイをいただきました。

# 6

## 12人でつむぐ 人と動物の物語

田園調布学園大学人間福祉学部

教授 和 秀俊

### 家族の「かすがい」

今から17年前、都内の専門学校に勤めていたある朝、実家の母からの言葉にならない絶叫の音が私の携帯電話の留守録に入っていたことを昨日のこのように思い出されます。いつものように母の布団で丸くなって寝ていた「もんちゃん」がいつまで経っても起きないので、おかしいなと思い何度も揺すってみると既に息をしていなかったそうです。亡くなるまでいつもと変わらず過ごし、大好きな家族と一緒に最後を迎えたもんちゃんは幸せだったかもしれません。

姉が小さいもんちゃんを近所で見つけ大事な家族の一員となるまでは、父と母、

姉、私が少しすれ違うことが多かったのですが、もんちゃんが「かすがい」となり、とても温かい笑顔溢れる幸せな15年間となりました。もんちゃんには、本当に感謝しかありません。

もんちゃんはとても賢く家族思いで、父が実家の大掃除で脚立に乗って作業をしている最中にバランスを崩して床に転がり落ちた際には、真っ先に助けようと動き、その後とても心配そうに父を見守っていた表情が今でも忘れられません。

もんちゃんは、11年前に亡くなった父の横に佇み、今も温かく見守ってくれています。毎朝、もんちゃんを思い浮かべ、家族の幸せを願い手を合わせています。



令和5年4月から毎月、川崎市動物愛護センターホームページで公開中。  
令和5年度1年間を12人の方にエピソードリレーしてもらいます。

令和5年6月 田園調布学園大学人間福祉学部 教授 和 秀俊

 [令和5年6月 田園調布学園大学人間福祉学部 教授 和 秀俊\(JPG形式, 186.84KB\)](#)

このページに対してご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

☐役に立った ☒どちらともいえない ☐役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

☐見つけやすかった ☒どちらともいえない ☐見つけにくかった

いただいたご意見は、今後の当ホームページ運営の参考といたします。

確認する

お問い合わせ先

川崎市 健康福祉局保健医療政策部動物愛護センター

〒211-0013 川崎市中原区上平間1700番地8

電話：044-589-7137

ファクス：044-589-7138

メールアドレス：[40dobutu@city.kawasaki.jp](mailto:40dobutu@city.kawasaki.jp)